

令和7年度

「運営に関する計画」

目標設定

大阪市立巽小学校

大阪市立巽小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では学校教育目標を「豊かな心をもち、自ら考え、たくましく生きぬく子どもを育てる」とし、めざす子ども像を「楽しく学ぶ子」「思いやりのある子」「ねばり強い子」としている。

課題解決の手立てとして、ＩＣＴの効果的な活用等により個に応じた指導を工夫し、「楽しく学ぶ子」「ねばり強い子」の育成を図っていく。

また、規範意識を育成し、きまりや約束を守り、自律的な生活態度を身につけると共に、対話を大切にした様々な学習や活動を通して、互いの思いや考えを尊重し合い、豊かな人権感覚を醸成し、生き抜く力を培っていきたいと考える。

【児童が安心して楽しく通える学校づくり】

新型コロナウイルス感染症の影響がある中、学校行事など工夫をしながら、可能な形で実施することに取り組んできた。ただ、感染への不安から登校を控える児童がいたり、これまでにない様々な状況の変化も一つのきっかけとなり、不登校傾向となる児童が増えたりしたと考えられる。児童が安心して学校に通えるよう、感染症対策を十分に行った上で、学級活動・異学年集団活動や体験的な学習を充実させ、毎日楽しく通える学校づくりを目指す必要がある。

そこで、道徳や人権教育の取組から、互いのちがいを理解すると共に、友だちのよさを見つけ尊重し合い、相手の立場になって考え、いじめを許さない仲間づくりをすすめる。

【学力・体力の向上】

引き続き、教員一人ひとりの指導力の向上を図り、「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）の視点に立った授業改善を行い、思考力・判断力・表現力を育成していく。

3年生以上における外国語の授業においては、より充実した学習となるよう、専門的な知識・技術をもつ外部人材(C-NET含む)の活用を積極的に行う。

日常的に手洗いうがいの励行を行うことで習慣化を図っている。また、早寝早起きの生活習慣の確立や毎日の食の指導を通して、健康な体づくりへの意識を高めさせていく必要がある。様々な健康週間を実施し、その年度にあった健康づくりを推進する。

【ＩＣＴ機器の活用】

主体的・対話的で深い学びをすすめるため、一人一台端末の積極的な活用を図る。どの教員も授業でＩＣＴ機器をスムーズに活用できるよう、校内研修を充実させる。

【教職員のゆとり確保】

年間を通して児童へのより良い授業・指導を行うには、教職員も時間的・精神的な余裕を持つことが必要である。そのため、教職員のゆとりの日を設定したり、年次休暇取得を促進したりする。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を70%以上にする。(R5 76.4%) (R6 81.2%)
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(1 安全・安心な教育環境の充実) (R3 3年 90.5% 4年 90.8% 5年 91.9% 6年 94.5%) (R4 3年 83.6% 4年 93.9% 5年 96.8% 6年 84.4%) (R5 3年 91.6% 4年 92% 5年 89.4% 6年 85.3%⇒89.6%) (R6 3年 84.5% 4年 87.1% 5年 96.1% 6年 94.1%⇒90.5%)
- 令和7年度の小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、前年度より増加させる。(2 豊かな心の育成) (R3 3年 62.5% 4年 75.4% 5年 72.6% 6年 79.5% R5 76.2% R6 84.9%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を、40%以上にする。(R3 3年 41.7% 4年 36.5% 5年 34.5% 6年 35.2%) (R5 3年 31.7% 4年 86% 5年 71.2% 6年 78.7%) (R6 3年 48.3% 4年 38.9% 5年 39.2% 6年 33.8%⇒40.1%)
- 令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も毎年1ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R3 3年 79.7% 4年 69.2% 5年 72.5% 6年 82.2%) (R5 3年 73.3% 4年 86% 5年 71.2% 6年 78.7%) (R6 3年 89.6% 4年 72.2% 5年 78.5% 6年 72.1%⇒78.1%)
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。(R3 63.6%) (R5 72.9%) (R6 71%)
- コロナ禍であっても、健康週間を位置づけ、健康に関するアンケート(運動・給食・睡眠など)に対して、肯定的な回答をする児童の割合を年々増加させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の児童アンケートにおける「日々の授業の中で学習者用端末(タブレット)を活用して学習している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を80%以上にする。(デジタルドリルの活用が楽しい 経年調査 R3 3年 73.4% 4年 80.0% 5年 75.8% 6年 84.9%)
- 令和7年度において年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。(R6 96%)
- 令和7年度において「ゆとりの日」を週1回設定し、「ノー残業デー」とする。学校閉庁日について夏季休業中は5日以上、夏季休業中以外の休業期間においては3日以上設定する。
- 令和7年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について肯定的に答える保護者の割合を、令和4年度より5ポイント増加させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を82%以上にする。(R4 74.1% R5 76.4% R6 81.2%)
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R5 76.2% R6 79.9%)
- 児童アンケートにおける「学校に行くのが楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。(R5 88% R6 86.3%)
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的回答をする児童の割合を91%以上にする。(R5 89.6% R6 90.5%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を41%以上にする。(R3 30.9% R4 41.6% R5 39.4% R6 40.1%)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72%以上にする。(R3 55.9% R4 69.0% R5 72.9% R6 71%)
- 小学校学力経年調査における「国語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を同一母集団で前年度より上昇させる。(R5 3年 73.3% 4年 78.5% 5年 57.6% 6年 62.3%) (R6 3年 72.5% 4年 68.5% ↓ 5年 80.4% ↑ 6年 51.5↓)
- 新体力テスト(4～6年生)の体力合計点を前年度より1ポイント向上させる。(R3 男子 45.40 女子 50.20) (R4 男子 51.29 女子 56.13) (R5 男子 49.16 女子 52.15) (R6 男子 50.52↑ 女子 51.86↓)
- 心と体の健康のための生活習慣校内アンケートの肯定的な回答の割合を全校平均85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の63%以上にする。(R5 1% (全体の活用率は42.3%)) (R6 62.9%)
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を97%以上にする。(R6 96%)
- 児童アンケートにおける「学校生活で学習者用端末を活用している」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R5 前期 76% 後期 84%) (R6 89%)
- 毎週金曜日に「ゆとりの日」または「ノー残業デー」を設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は5日以上、冬季休業中は5日以上設定する。(R5 夏5回 冬5回) (R6 夏5回 冬5回)

大阪市立巽小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を82%以上にする。 (R4 74.1% R5 76.4% R6 81.2%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R5 76.2% R6 79.9%)</p> <p>○児童アンケートにおける「学校に行くのが楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。(R5 88% R6 86.3%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的回答をする児童の割合を91%以上にする。(R5 89.6% R6 90.5%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートを学期に1回実施し、認知した事案に対して児童への聞き取り・指導を行う。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を89%以上にする。 【R5 86% R6 88.5%】 	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動や異学年集団活動において、実施方法・内容を工夫し、友だちと交流することの楽しさを感じられるようにする。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートにおける「学校に行くのが楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。【R5 88% R6 86.3%】 	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話を大切にした様々な学習や活動を通して、互いの思いや考えを尊重しあい、自己肯定感や自己有用感を醸成し、生き抜く力を培う。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R5 76.2% R6 79.9%) 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	
①	

大阪市立巽小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を41%以上にする。(R3 30.9% R4 41.6% R5 39.4% R6 40.1%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72%以上にする。(R3 55.9% R4 69.0% R5 72.9% R6 71%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「国語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を同一母集団で前年度より上昇させる。(R5 3年 73.3% 4年 78.5% 5年 57.6% 6年 62.3%) (R6 3年 72.5% 4年 68.5% ↓ 5年 80.4% ↑ 6年 51.5↓)</p> <p>○新体力テスト(4~6年生)の体力合計点を前年度より1ポイント向上させる。(R3 男子 45.40 女子 50.20) (R4 男子 51.29 女子 56.13) (R5 男子 49.16 女子 52.15) (R6 男子 50.52↑ 女子 51.86↓)</p> <p>○心と体の健康のための生活習慣校内アンケートの肯定的な回答の割合を全校平均85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童一人ひとりの基礎基本の学力の向上を図り、「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)を通して、思考力・判断力・表現力を育成する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校学力経年調査における国語の大阪市平均との標準化得点を同一母集団において経年的に比較し、前年度より0.1ポイント向上させる。(R6 4年 94.1%→96.0% 5年 98.8%→98.5% 6年 96.7%→96.7%) 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国語活動やイングリッシュタイムにおいて、ゲームやアクティビティなどのコミュニケーション活動を通して、楽しみながら進んで伝え合う力の育成を図る。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートにおける「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。(R5 82.3%) (R6 85%) 	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の運動に対する興味・関心を高めるとともに、目標を達成した喜びを味わえるようにする。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 新体力テスト(4~6年生)の長座体前屈の記録を、同一母集団で前期・後期を比べ5cm以上向上させる。 	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p>	

- ・校内研究をはじめ、健康週間や保健だよりなど啓発活動を行い、心身ともに健康な生活のための習慣を身につけることができるよう指導を工夫する。

指標

- ・校内児童アンケートを実施し、心と体の健康のための生活習慣について、肯定的な回答の割合を全校平均 85% 以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

後期への改善点

大阪市立巽小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の63%以上にする。(R5 1% (全体の活用率は42.3%)) (R6 62.9%)</p> <p>○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を97%以上にする。(R6 96%)</p> <p>○児童アンケートにおける「学校生活で学習者用端末を活用している」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R5 前期76% 後期84%) (R6 89%)</p> <p>○毎週金曜日に「ゆとりの日」または「ノー残業デー」を設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は5日以上、冬季休業中は5日以上設定する。(R5 夏5回 冬5回) (R6 夏5回 冬5回)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT活用に関する教員研修を年間3回以上実施する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童アンケートにおける「学校生活で学習者用端末を活用している」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R6 89%) 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週金曜日に「ゆとりの日」または「ノー残業デー」を設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は5日以上、冬季休業中は5日以上設定する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を66%以上にする。(R6 65.2%) 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①	
後期への改善点	
①	